

# ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。  
http://info.pref.fukui.lg.jp/danken/danjo/f-net/f-net1.html

## 「さらに外への発信に向けて」

福井県内の企業のパワフルな女性メンバー33名が集まり、第3期がスタート致しました。メンバー全員で女性ネットの活動をさらに外へ発信しようと取り組んでいます。

合言葉は「YES WE CAN! YES I CAN!」

今回は、3～4月にかけて行われた様々な活動報告と、県内で御活躍されている女性管理職の方へのトップインタビューをお届け致します。

### 熱気あふれる「2009年度J-Win拡大会議」に参加して

日時：平成22年3月10日(水)

場所：東京都内

ふくい女性ネットメンバー6名参加

拡大会議の主な内容は、内永ゆか子会長による年度総括、各部会の活動報告、記念講演、そして「2010ダイバーシティ・アワード」授賞企業の発表でした。「ふくい女性ネット」は招待という形で、石森2期会長、市岡2期副会長、塩田リーダー(交流部会)、笠松リーダー(情報発信部会)、大嶋さん、友廣の6人が参加いたしました。

その感想は、「行ってよかった!」です。一つ一つ何がということではないのですが、「刺激」という空気に触れ、「触発」されたことが大きかったと思います。熱気ある会場の雰囲気(人数にも圧倒されました!）、オーラのある内永会長の講演、各部会メンバーの活動報告など。部会の報告で印象的だったのは、すべての部会で最後に「ミッション(使命)」を掲げていたことでした。ミッションがあることで、今後の活動目的や意識がより明確になります。

意識の高さを垣間見たその一方で、企業のスケールに違いはあっても、自身のキャリアアップ、結婚、出産など働く女性の悩みは共通しているのだとも感じました。大事なのは、自分とは違った世界、大きな世界を見ることがだと思います。そして、感銘を受けたことを自分の中へどんどん吸収していくことだと改めて痛感しました。それらを今後の活動に、少しでも生かしていけたらと思っています。

また、参加メンバーとも懇親を図ることができ、いろいろな面(?)を知ることができた有意義な1日でした。機会を与えてくださった福井県に感謝いたします。(友廣)

ふくい女性ネット(第3期)参加企業:ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイティ広告	株式会社アイル	司法書士法人 i s t	株式会社ウララコミュニケーションズ
株式会社エイチアンドエフ	株式会社オムキャスト	株式会社キタジマ	株式会社黒川クリーニング社
サカイオーベックス(株)	坂井市	株式会社ジャムジャム	株式会社シャルマン
株式会社SHINDO	セーレン(株)	第一警備保障(株)	新田塚コミュニティ(株)
日本システムバンク(株)	福井貨物自動車(株)	福井キャノン事務機(株)	福井県商工会連合会
福井県赤十字血液センター	福井県	財団法人福井県文化振興事業団	福井県民生活協同組合
学校法人福井仁愛学園	国立大学法人福井大学	福井経編興業株式会社	福井トヨペット株式会社
福井鋸螺株式会社	フクビ化学工業株式会社	株式会社PLANT	北陸電力株式会社福井支店
松文産業株式会社	(33社、50音順)		

日時：平成22年3月19日(金) 15:00～16:40  
場所：ユー・アイふくい 映像ホール

# ふくい女性ネット第2期活動報告会

## 〈基調講演〉「企業における女性の活躍推進」

金井 麻美子さん (キリンホールディングス(株) 人事総務部人事担当兼多様性促進プロジェクト)

圧倒的な男性社会、そして総合職女性社員が5年目に半数辞めてしまうという状況を転換していくのは、大変な作業だと察しがつきます。なぜダイバーシティが必要なのか。なぜ女性の活躍推進なのか。どのように進めていくのか。お話を伺う中で一番印象に残っているのは、「半歩でもいいから前へ」の合言葉を胸に、半歩前に出た女性、そして後押ししてくれた上司のお話でした。社員の方が出演されているDVDでは、同じ女性として、決断する勇気に、また、同社の上司の温かさに涙がこぼれるほどでした。トップダウン=会社としての仕組みづくり、ボトムアップ=女性社員自身の意思改革がうまく実践され、確実に会社が前進しているお話を伺い、勇気が湧いてきました。



## 〈第2期活動報告会〉 自己研鑽部会・交流部会・情報発信部会



いつもより若干緊張の面持ちのメンバーでしたが、いつもどおりの段取りの良さで第2期1年間の活動を発表しました。2期は何かと行事をたくさん行い、県外の方からも注目され、また、様々な交流会を持つ活動となりました。最後までパワーあふれる1年間！メンバーの皆様お疲れ様でした。

## 〈交流会〉

2期で卒業されてしまう先輩方との別れは寂しく、心細くもありましたが、月1回の活動を通し、切磋琢磨し成長する活動ができたという充実感がありました。「ふくい女性ネットに参加することができて本当に良かった」という言葉が、卒業メンバー、継続メンバーからこぼれ、会場に一体感が感じられました。これも参加企業の後押しや県の取組みがあったのことに改めて感謝。3期から新しく参加されるメンバーの方からは、「圧倒された」との意見もありましたが、直ぐに馴染むことでしょう。



石森2期会長の「頼まれた仕事は引き受ける。」のメッセージを肝に命じ、3期の活動を進めてまいります。

(笠松)

日時：平成22年 4月23日(金)・24日(土)  
場所：ユー・アイふくい 学習室B1  
越前町岬平「水仙荘」

## 第3期ふくい女性ネットの活動テーマ

平成22年4月23日(金)、ユー・アイふくいにて第3期の発足会が行われました。その後、越前町岬平の保養所「水仙荘」で、合宿を行い、親睦を図りながら、部会ごとに年間活動テーマを考え、今年度の活動内容を話し合いました。

時折、部会ごとに「どっ」と笑い声も上がり、和やかな雰囲気の中、前向きな意見交換ができました。

### 〈自己研鑽部会〉

3期目を迎え、内部体制がより充実したふくい女性ネットは、外向きな活動に力を入れたいとの思いから、自己研鑽部会の年間活動テーマを「はばたこう！ふくい女性ネット～Yes, we can, Yes, I can～」としました。

活動内容として、まずは初の試みである「メンバーによる勉強会」を開催します。これはメンバーと参加企業との相互理解が狙いです。次に「一般公開の勉強会や講演会」を開催します。

これは一般の方々に私達の活動をアピールし、今後の対外的なネットワークを構築することが狙いです。

これらを通してメンバー一人ひとりの「やってみよう！」という気持ちや能力をより高め、発信していくことで、外向きの矢印をつくり、より多くの働く女性に希望を与えたいと思います。(リーダー：田中)

【部会メンバー／青木・宮本・大嶋・田中・中川・坂下・石田・黒田・佐々木・田宮・武澤】



### 〈交流部会〉



交流部会の今期のテーマは「**交流の深化**」です。内・外との交流を図る事で、「ふくい女性ネット」の存在意義を深めていきたいと考えます。今期は他県での働く女性との交流会も企画しています。このような活動を通じ、福井の女性達の更なる進化を目指してまいります。(リーダー：北嶋)

【部会メンバー／林・山口・西田・北嶋・長谷川・石黒・澤田・坂下・小林・亀山・石津・友廣】

### 〈情報発信部会〉

今期、情報発信部会では「**でよっさ**」をテーマに活動を広げていきます。3期発足会での「福井県の現状と女性活躍支援」の報告で、まだまだ福井県の女性管理職の人数が少ない現状に気がつきました。

1年間を通して、現在、様々な分野のトップとして御活躍されている県内の女性管理職の方々(でちゃっている女性)に直接インタビューし、働く女性にエールを送れるような情報発信ができればと思っています。

なお、年間テーマ別に「働く女性と〇〇」の「ふくい女性ネット川柳」もメンバーから募集・掲載し、「ほっ」としていただける紙面作りも行っています。

ふくい女性ネットの第3期目メンバーとして、1・2期メンバーが蓄積してきたノウハウを更に進化させたいと思います。(リーダー：荻原)

【部会メンバー／金丸・本島・藤田・笠松・新家・荻原・宮崎・増永貴・杉本・増永悦】



## でちゃった女性インタビュー 連載第1回

「でよっさ」を年度テーマに活動する情報発信部会メンバーが、現在トップとして活躍されている県内女性「でちゃった女性」へインタビューを行いました。

### ▶ 福井県生活学習館 館長 今富 廣子さん

館長のキャリアチャートにはマイナスがありません。振り返って後悔することはないそうです。

### 人生のターニングポイントとは？

三つあります。

#### ① 中央研修機関での研修……40歳

男性中心だった研修に女性特別課程ができ、1期生として参加しました。全国から集まったエネルギーギッシュな女性たちの、自分のそれまでの女性感とは違うものの考え方、仕事に対する積極性に刺激を受けました。以降、都道府県持ち回りで交流・情報交換会を開いており、全国に今も大切な友がいます。

#### ② 政策部門への異動……47歳

アバウトながらも県全体の仕事の把握が必要で、おまけに専門用語がいっぱい！多くの職員の方に教えてもらい、協力してもらって乗切りました。3年間、夕食は作った覚えがなく（笑）家族の夕食は、夫の手作りでした。息子は、その時の夕食メニューは夫の炒め物の記憶しかないと言っています。朝食と弁当だけは毎日私が作りましたが、職場でも家でも、それぞれに助けてもらいました。感謝、感謝。

#### ③ トップリーダーの下での勤務……54歳

1課の長であったものの、トップリーダーの問いに視野の狭いピンポイント外れの答えの連続、思い出しても顔から火が出るような思いをしました。上司が求めることへの理解と把握の必要性、応える難しさをいやというほど知りました。毎日必死でしたが、充実した日々と、自分なりに幅広いものの考え方、視野の広さを得ることができました。



### 家庭と仕事の両立のコツは？

コツと言えるものは何もないです。一つ一つを、一生懸命やるだけ。私の場合は、2度の出産、仕事、子育て、家事、それぞれを一生懸命やっただけです。ある日曜日のこと、疲れと睡眠不足で意識が…。(インタビュー班、仰天)でも、爆睡で回復しました。若かったからかな？

子供が小さいときは、さみしい思いもさせ、仕事を続ける気持ちが揺らぐこともありましたが、基本的に仕事をやめようとは思わなかったです。今も(仕事を続けたことを)後悔してないですよ。

### 後輩に一言を

「できない」は言わないこと。仕事は必要な知識とやる気と人の和(輪)です。そのどれもが必需であるとは自分の意気込み次第。結果はすべて自分の生き方・取り組みを映す鏡だと私は思っています。後ろを向かないで！前進あるのみです。一日一日大切にがんばってください。(増永悦)

### 編集後記

新たな企画である「福井で飛びぬけて活躍されている女性」へのインタビュー、「ふくい女性ネット」に携わる方からの川柳募集を始めました。どれも大変おもしろく、編集側の特権で紙面以上に楽しみを享受させていただいております。編集スタッフでよかった。(笠松)

今富館長から、自らの行動を見つめ直す機会をいただきました！初めての例会やレポート作成、緊張しました…。とてもよい経験になったと思います。(増永悦)

今期から新規メンバーとして参加させていただきました。トップインタビュー時の今富館長の「仕事とは、必要な知識とやる気と人の和(輪)」と「何事も一生懸命」の言葉が忘れられません。このふくい女性ネットの活動に参加できて本当に幸せだと感じました。(荻原)